

平成27年度文化庁日本語教育大会
「生活者としての外国人」のための日本語教育
テーマ別実践報告会 第2分科会

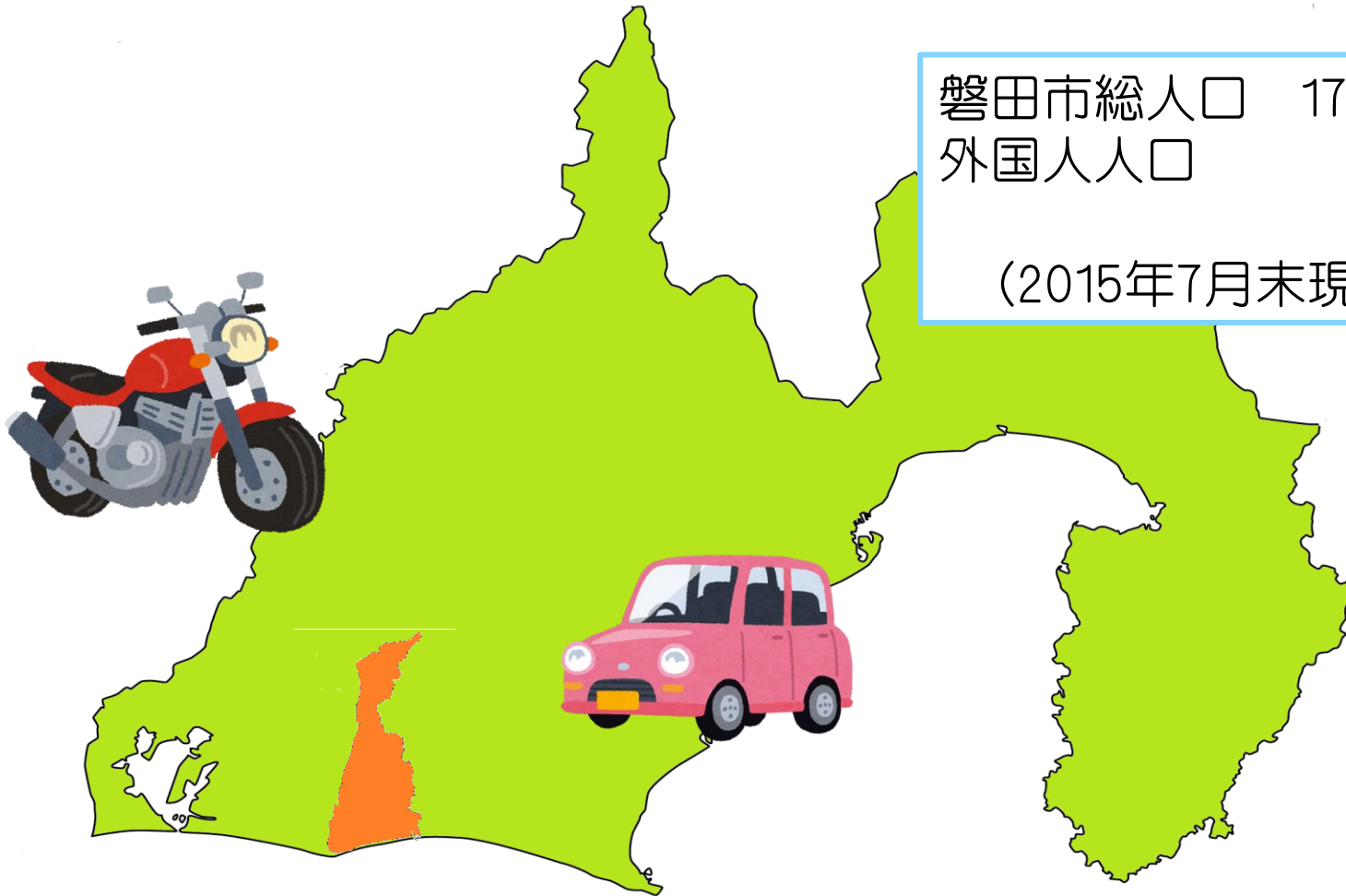
報告1

ふりかえりシート、学習記録、
Can-do statements による自己評価

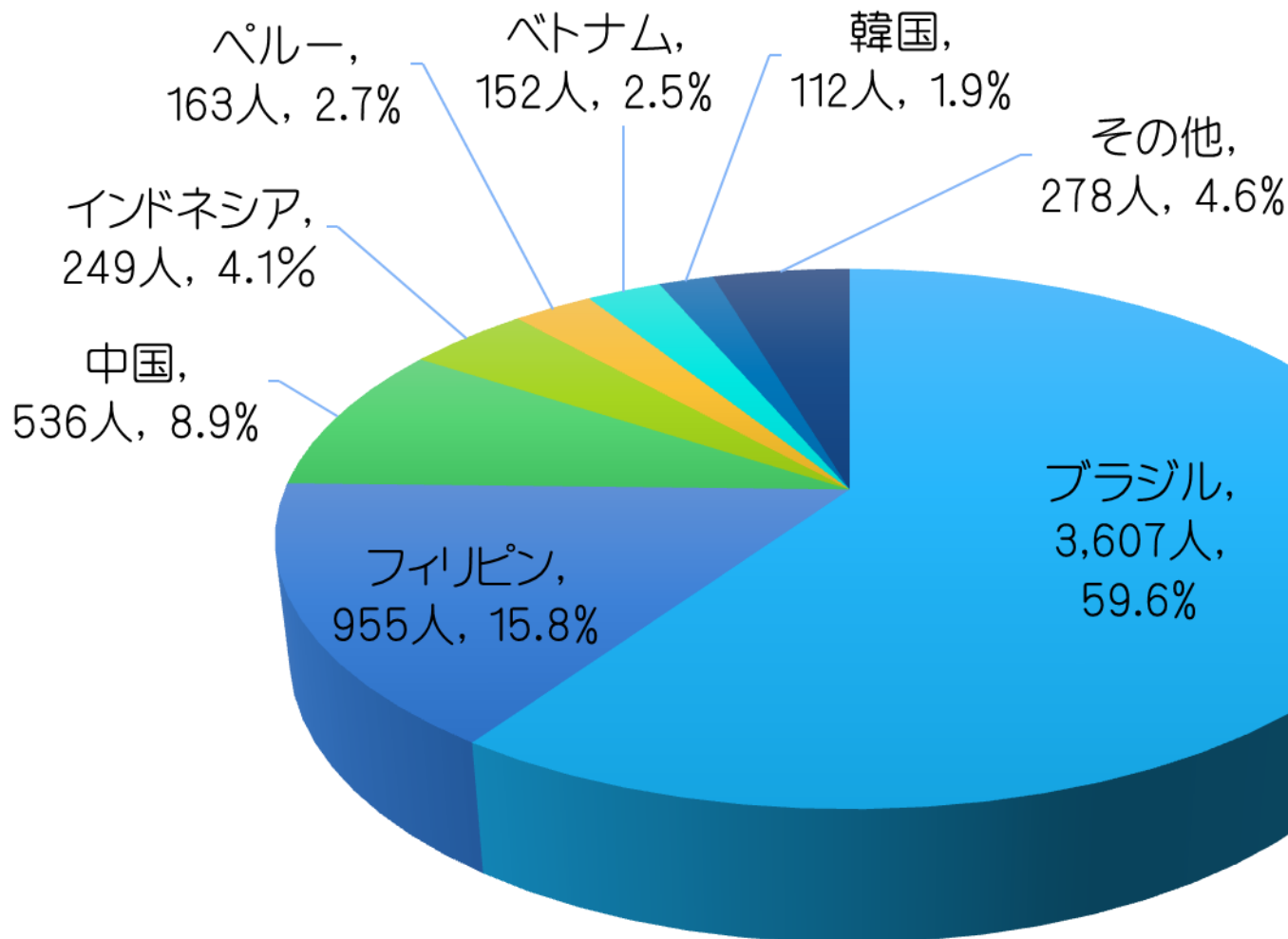
磐田国際交流協会 永山鮎子

静岡県 磐田市

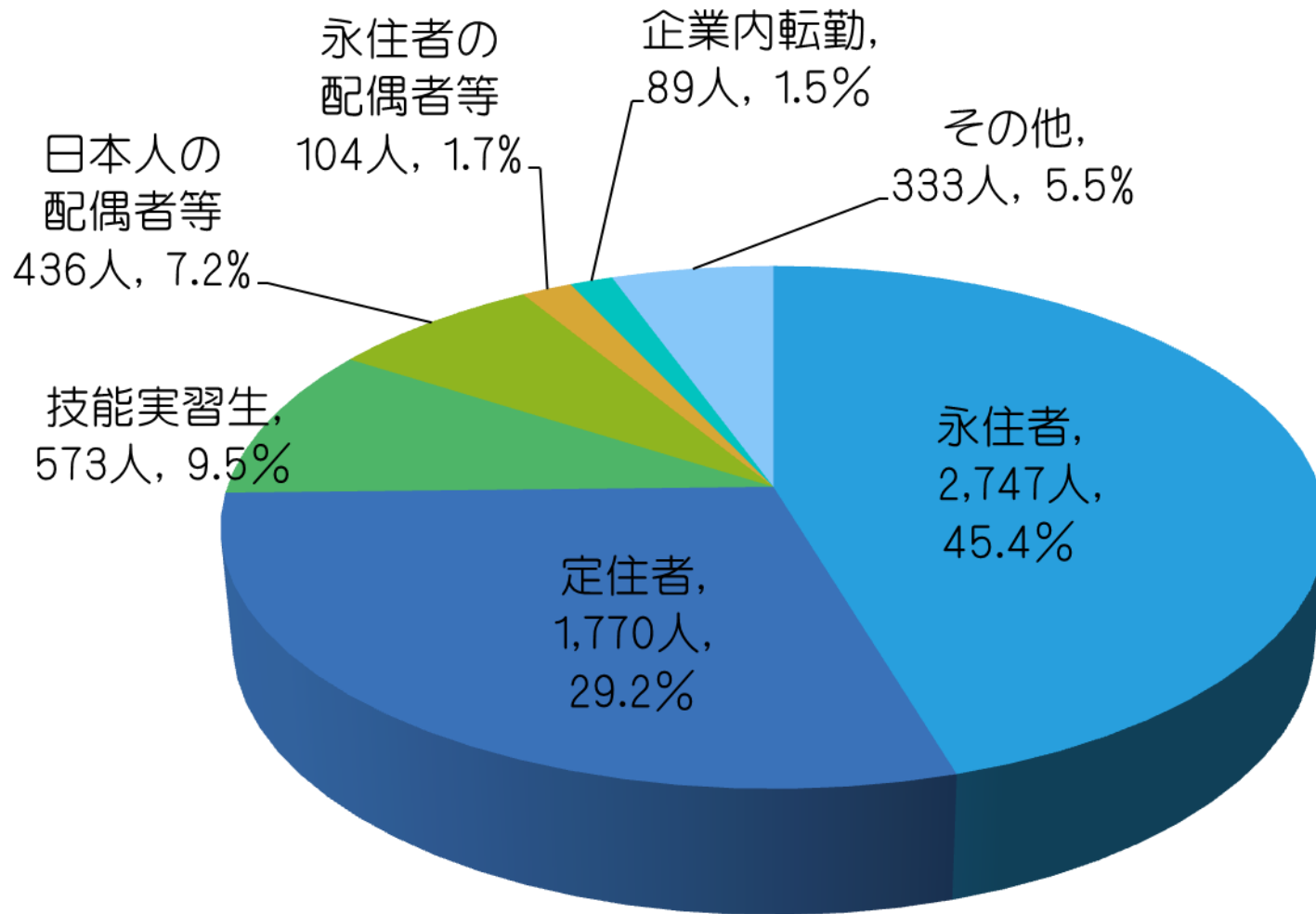
磐田市総人口 170,696人
外国人人口 6,052人
(3.5%)
(2015年7月末現在)



磐田市在住外国人の国籍別割合 (2015年7月末現在)



磐田市在住外国人の在留資格別割合 (2015年7月末現在)



日本語教室(市内4か所)

豊田教室

木曜日19:00～21:00
学習者19名
支援者18名

ワークピア教室

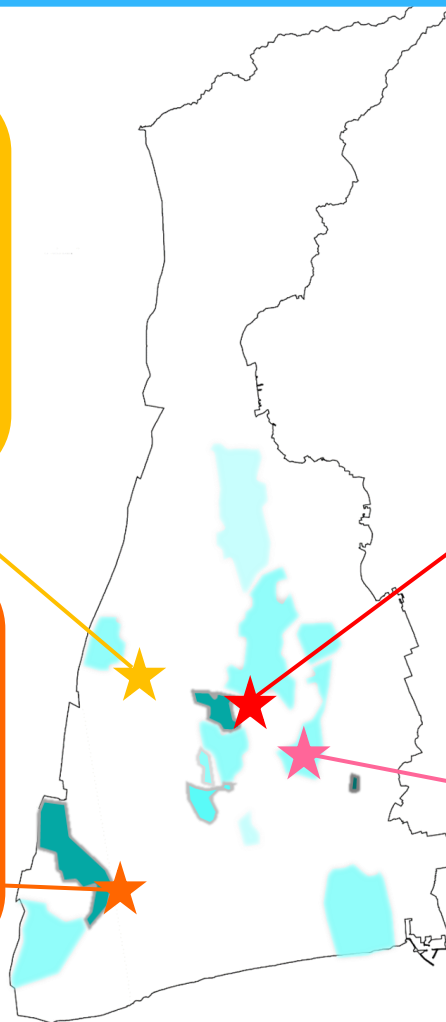
日曜日14:30～16:30
学習者26名
支援者18名

竜洋教室

日曜日14:00～16:00
学習者9名
支援者4名

西貝教室

日曜日14:00～16:00
学習者26名
支援者8名



※参加者数は2015年7月末時点で、定着していると思われる人数



対 話 活 動



2011

対話活動導入

ふりかえりシート

2012

対話活動のための
教材作成

★ワークシートと
区別して、使うよ
うになった

<試行錯誤>

★フォーム作成

学習記録

★フォーム作成
★導入

★フォーム改良

Can-do statements

★「とよた日本語能力
判定」の導入を試みる

★Can-do statements
のみを実施することに

2013

行動体験の活動のための
教材作成

2014

2015

ふりかえりシート ～導入～

2011年度
対話活動導入

ワークシートとふりかえりシートを分けて考えていなかった



2012年度
対話活動のための教材作成

ワークシート

ふりかえり
シート

大事!

- ・ ワークシートとは別に、ふりかえりシートを使用
- ・ 記録として保存
- ・ フォームは、さまざま → 試行錯誤

対話
のみ

毎回

ふりかえりシート ～試行錯誤～(2012年度)

テーマ 27 「得意な料理」 ふりかえりシート

「得意な料理」

・なにを作りますか？

・材料は何ですか？

・道具は何を使いますか？

・どうやって作りますか？



文にしてください

Q&Aと作文

今日はだれと話しましたか

(おいしいもの)

_____は(か)、ここにあり

_____でいきます。

うち から _____まで、

_____で

文型穴埋め

テーマ 6 「食べ物」 ふりかえりシート

⑦他の人は どんな話を しましたか。

_____さん→

_____さん→

_____さん→

_____さん→

おぼ 覚えたい かんじ 漢字・ことば

《例》

(おてほん) 食べ物 (いみ) comida

(れんしゅう) 食べ物 食べ物 食べ物 食べ物

食べ物 食べ物 食べ物 食べ物 食べ物

(おてほん) _____

(れんしゅう) _____

(おてほん) _____

(れんしゅう) _____

(おてほん) _____ (いみ) _____

(れんしゅう) _____

文字練習

ふりかえりシート ～改良～

いろいろなフォームを使ってみて、気付いたこと

- ・ 目的があいまい
- ・ 対話の内容とずれることもあった
- ・ 内容を盛り込みすぎて、時間がかかった
- ・ 学習者や支援者への負担



ふりかえりシートの目的を再確認

目的

学びの意識化

学習の記録

2013年度

行動・体験の活動のための教材作成

文化庁 日本語学習ポートフォリオ「毎回の学習の記録」※を参考に、
シンプルなフォームを作成

※『「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価について』



ふりかえりシート (2013年度～)

テーマ

教室 月 日 名前 _____
テーマ「 _____ 」

今日、話した人

★今日、話した人

覚えたことば
覚えた文

★覚えたことば、覚えた文

★話したこと、感じたこと

話したこと、
感じたこと

これから学びたい
こと

★これから学びたいこと



ふりかえりシート 使用例

例1

みんなは、
楽しかった。

個人の日本語力
に応じて、
その日学んだこと
を書き残す

例2

◆ ^{おぼ} 覚えた言葉、 ^{ことば} 覚えた文				
えだまめ。				
◆ ^{はな} 話したこと、 ^{かん} 感じたこと				
とうきょうへ いきたいです。				
らいねんの なつに のほりたいです。				

ふりかえりシート ～成果～

- ・ 対話活動を通して覚えたことや知ったことを書くことで、学習者の学びの意識化、実感につながっている
- ・ 学びを支援者と共有できる
- ・ 記録として保管することで、さかのぼって、成長や変化をみることができる
- ・ シンプルなフォームにしたので、日本語レベルや活動内容を問わず使えるものになった

学習記録 ～導入～

2011年度以前

教室活動の報告書はあったが、個人別の記録は、
一部の教室でしか残していなかった



2012年度
対話活動のための教材作成

学習歴の分かる一覧表を作成し、導入

対話
クラス
以外も

毎回



2013年度
行動・体験の活動のための教材作成

使いやすいように改良

学習記録 (2011年度以前)

例1 西貝教室

- ・指導者が記入
- ・テキスト学習や文字学習向け
(文字、会話など項目別に記入)

学習記録 No. _____

氏名: _____

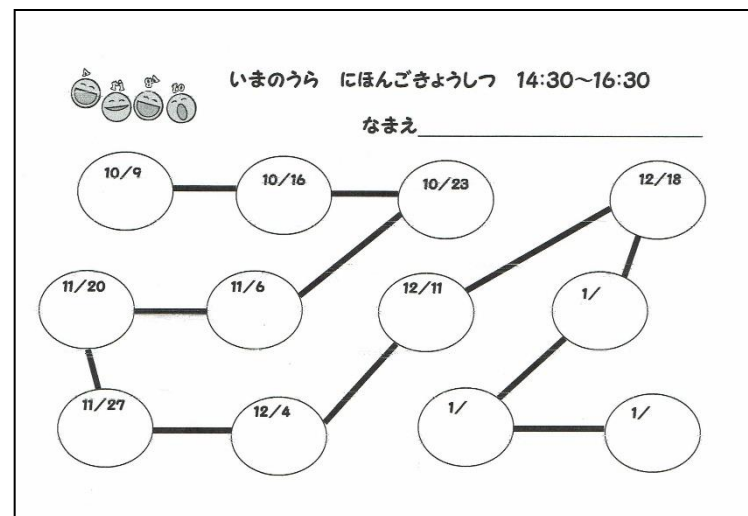
学習の進捗 (○をつける)			
1	ひらがな	4	漢字の読み
2	カタカナ	5	
3	漢字	6	

購入物 (○をつける)			
教科用カード	形容詞カード	ひらがな帳	
カタカナ帳	漢字帳	にほんご450かん	

日付	文字	会話	カード	テキスト、教材	備考	担当	配付物
10/9	ひらがな ふみ	90%	Vカード あるおし	にほんごのひ 1, 2			あいさつ文 ～お願ひします
10/19	カタカナ ふみ	60%	カード あるおし				ひらがなテスト1 カタカナテスト1
11/9	ひらがな あと少し ほね、あ	会社の朝礼の あいさつ文	Vカード あるおし		会社のあいさつ文 作って、ふみ練習 をしました。		ひらがなテスト2 カタカナテスト2
11/23		外国の料理	Vカード 10枚	にほんごのひ 1	Vカードに少し 慣れました		練習・長音テスト ひらがなゲーム
11/30	ひらがな 書き	ロボット		にほんごのひ 2	ひらがなを書ける 職業、家族の言い 方学びました。		
12/21		新年会	Vカード	にほんごのひ 1			
1/18			動詞カード 形容詞カード	にほんご450かん 1課、2課、3課	ひらがなをよくふみ 会話ふみできます。 カード80%位ででき		

例2 対話クラス

- ・話した相手にサインをもらう
- ・学習者が持ち帰る



(2012年度版)

目標が達成できたか？

学習記録 (2012年度版)

使ってみると・・・

- ・ 目標を具体的に書くことができなかった
- ・ 初級者が、日本語でコメントを残すことが難しかった
- ・ 母語での記入をOKにすると、支援者が読めないこともあった



学習記録 (2013年度版)

がく しゅう き りく
学 習 記 録

名前 _____

回 学習日	学習内容	コメント
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()
		学習者    講師・ボランティア ()
		学習者    講師・ボランティア ()
		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()
／		学習者    講師・ボランティア ()

- 69 -

目標は
書かないことに

コメントを書くのが
難しかったら、
顔マークを選ぶ



8回通しての
気持ち

学習記録 ～成果と課題～

成果

- ・ 学習歴が一目で分かるようになった
- ・ 前に何をやったか分かり、支援者からの声かけや活動内容の参考になる
- ・ たまにしか参加できない学習者の所属感の向上につながった
- ・ コメント欄で、学習者と支援者のコミュニケーションが生まれ、モチベーションUP

課題

- ・ コメント欄で、学習者の感想や意見をすい上げたいが、日本語では自由に書けない
- ・ 母語対応など、工夫が必要

Can-do statements ～導入①～

2011年度以前

教室として、評価の方法を決めていなかった

2012年度

- ① 「とよた日本語学習支援システム 日本語能力判定」を導入するため、スタッフが研修に参加
- ② 指導者を集め、研修会を開催
- ③ 教室で導入



※ 「とよた日本語学習支援システム 日本語能力判定」
・Can-do statements ・「聞く・話す」判定 ・「読む・書く」判定

Can-do statements ～導入②～

導入したところ・・・

- ・ 限られた活動時間の中で行うことや、テストの確保が難しい。
- ・ 支援者が学習者のレベルを判定するということが、対話活動の対等な関係を築くという考えになじまなかった。



自己評価チェックリスト「Can-do statements」のみを
実施することに

Can-do statements 判定結果シート

判定結果シート 受験者名 _____ ※その他の場合は右の()に国籍を入力)

国籍 ベトナム () 教室 豊田教室

Can-do statements		聞く		話す		読む		書く		合計																												
No.	試験日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	聞く	話す	読む	書く	合計		
1	2013 5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	2	1	4	4	2	3	2	18	18	23	11	15	65
2	2014 3	6	4	3	3	4	3	3	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	2	3	4	4	3	3	4	3	2	3	3	20	23	24	17	15	99	
3	2014 10	16	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	4	3	23	24	29	19	19	114	

読む能力と書く能力の判定(読む)

No.	試験日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	読む 合計	読む レベル	名前	住所	1	2	3	4
1													0	0						
2													0	0						
3													0	0						

読む能力、書く能力

3回分を入力して比較

聞く能力の判定

No.	試験日	インタビュータスク												聞く レベル
受験者の回答レベル														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
1													0	
2													0	
3													0	

聞く能力

話す能力の判定

インタビュータスク														ロールプレイタスク										絵を見て話すタスク			
受験者の回答レベル														名前										住所			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	レベル	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	名前	住所	
1												0															
2												0															
3												0															

話す能力

判定結果

No.	試験日	読む	書く	聞く	話す	判定者
1					0	
2					0	
3					0	

判定結果

Can-do statements ～成果と課題～

成果

- ・ 学習者自身が、自分が何ができ、何が足りないのか自覚できる
- ・ 時間を置いて何度か実施することで、変化が分かる
- ・ 母語でできるので、学習者の負担が少ない
- ・ 短時間で実施できる

課題

- ・ 活動へどう反映するかのシステム作り

今後の課題

- 集めた情報をどう生かすか
- 学習者と一緒に、ポートフォリオをふりかえる機会をつくる
- 個人の目標設定や自己評価以外の評価方法の検討

ありがとうございました